



●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。

●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

一地球生物の願い

静岡県湖西市 鳥居 富美

地球は今、生物の大量絶滅時代に突入しているそう
です。二〇一九年IPBE
S(イプベス)の予測では、
少なくとも百万種は数十年
以内に絶滅の可能性があ
り、過去五回の生物大量絶
滅以上のペース。原因は増

えすぎた人類の活動で、恐
竜を絶滅させた隕石の衝突
以上のダメージを人間が地
球に与えているそうです
(※)。
高知の学会参加時、アー
ケード街で、九州のツキノ
ワクマは絶滅し、四国も数

頭のを、保護の募金活動を
していました。地元では湖
西市長が将来の住民が安心
して居住出来る様にとSD
Gsを発動させ、昨秋土地
所有者と工事業者双方に推
奨金を出し(全国初の試み)
雑木林を宅地造成真中で
す。市街には空き家が多く
あるのです。

山がまた一つ消えてしま
ました。山林や海岸も、
ソーラーパネル群やコンク
リートに様変わりしまし
た。人口の減少も鑑み、森
林や干潟をとり戻す事が経
済に繋げられたらと思いま
す。

熱に喘ぐ地球を救う望みも
あるかも知れない(既に手
遅れと言う学者もいる)。
現実には新たに道路や宅地、
電気自動車、工場新設等、
今日も世界中で山が削ら
れ、庶民はレジ袋拒否運動
で煙に巻かれている。徐々
に食糧危機は身近な問題と
なつて来よう。

ずつと将来、地球の主役
には全ての生物の共生を望
む賢く強く愛に溢れる生命
体が選ばれるかもしれませ
ん。山や海の美しい、生命
に溢れた地球が栄えること
を願っています。

※参考文献「生物はなぜ死
ぬのか」小林武彦著、講
談社現代文庫

毎朝眺めて緑を楽しみ、
新鮮な空気を送ってくれた
山。たっぶりの降雨を吸収
し、フクロウやタヌキ、昆
虫や微生物も養ってくれた